

日本学習社会学会

第16回大会プログラム

2019年9月14日（土）・9月15日（日）

日本学習社会学会第16回大会実行委員会
（於） 日本大学文理学部キャンパス

文部科学省の解剖

青木栄一編著

A5・上製・二九六頁・三二〇〇円

文科省は三流官庁か？幹部職員に対する初の意識サーベイ。官邸、他省庁、地方自治体等との関係、庁舎内の部署配置、幹部職員人事等のリアルな分析を通して、文部省／科技庁の統合後のガバナンスの行方等、俗説を排する文科省の組織構造の全貌を捉えた初の本格的実証研究。巻末に調査資料掲載。

長期学外学修のデザインと実践

澤邊潤・木村裕斗・松井克浩編著

A5・上製・三三六頁・三二〇〇円

留学生とともに学ぶ国際共修

末松和子・秋庭裕子・米澤由香子編著

A5・上製・三二八頁・三二〇〇円

塾・私的補習ルールの国際比較

M・ブレイン・クオオ著 森早坂 佐久間 田中・高嶋・大和訳

A5・並製・一八四頁・二〇〇〇円

いま、教育と教育学を問い直す

森田尚人・松浦良充編著

A5・上製・三四四頁・三二〇〇円

教育的関係の解釈学

坂越正樹監修 丸山恭司・山名淳編

A5・上製・二八〇頁・二八〇〇円

主体的・対話的で深い学びの理論と実践

遠藤孝夫編著

A5・並製・二八〇頁・二六〇〇円

ハーバード法理学アプローチ

渡部竜也・溝口和宏・橋本康弘・三浦朋子・中原朋生訳

A5・並製・五〇四頁・三九〇〇円

越境ブックレットシリーズ(各A5・並製、続刊)

① 教育の理念を象る

田中智志著

A5・並製・一六〇頁・二二〇〇円

② 知識論

山田肖子著

A5・並製・二二〇頁・二〇〇〇円

小林甫著 大転換期と教育社会構造(各A5・上製、続刊)

第1巻 教育社会史

日本とイタリアと

八一六頁・七八〇〇円

第2巻 現代的教養Ⅰ

生活者生涯学習の地域的展開

四六四頁・六八〇〇円

第3巻 現代的教養Ⅱ

技術者生涯学習の生成と展望

四八〇頁・六八〇〇円

ネオリベラル期教育の思想と構造

福田誠治著

A5・上製・一六六頁・六二〇〇円

現代学力テスト批判

北野秋男・下司晶・小笠原喜康著

A5・上製・二七二頁・二七〇〇円

学力格差拡大の社会学的研究

中西啓喜著

A5・上製・一七六頁・二四〇〇円

高等専修学校における適応と進路

伊藤秀樹著

A5・上製・三三六頁・四六〇〇円

社会を創る市民の教育

大友秀明・桐谷正信編

A5・並製・二七二頁・二五〇〇円

成人教育の社会学

高橋満編著

A5・上製・三四四頁・三二〇〇円

コミュニティワークの教育的実践

高橋満著

A5・並製・二一六頁・二〇〇〇円

NPOの公共性と生涯学習のガバナンス

高橋満著

A5・上製・二〇八頁・二八〇〇円

多様性と向きあうカナダの学校

児玉奈々著

A5・上製・二一六頁・二八〇〇円

ソーシャル・キャピタルと生涯学習

J・フィールド著 矢野裕俊監訳

A5・並製・二四〇頁・二五〇〇円

発達障害支援の社会学

木村祐子著

A5・上製・二四〇頁・三六〇〇円

メディア・リテラシー教育における「批判的」な思考力の育成

森本洋介著

A5・上製・三三六頁・四八〇〇円

社会形成力育成カリキュラムの研究

社会科・公民科における小中高一貫の政治学習

A5・上製・五二〇頁・六五〇〇円

放送大学に学んで

西村公孝著

A5・並製・三二二頁・二〇〇〇円

放送大学中国・四国ブロック学習センター編著

未来を拓く学びの軌跡

四六・並製・三二二頁・二〇〇〇円

日本学習社会学会第 16 回大会の開催にあたって

日本学習社会学会第 16 回大会 大会実行委員長
北野 秋男（日本大学文理学部）

会員の皆様におかれましては、ますますお元気で、ご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、日本学習社会学会第 16 回大会を、9 月 14 日（土）と 9 月 15 日（日）の両日にわたり、日本大学文理学部キャンパス（会場 7 号館・本館・図書館など）にて開催させて頂くことになりました。僭越ながら、日本大学文理学部を代表して厚く御礼申し上げますとともに、会員の皆様の多数のご参加をお待ち申し上げております。

さて、会場となります日本大学文理学部は、日本大学 16 学部の中の一学部ですが、学生数約 1 万人弱という日本大学の中では最大規模の学部です。日本大学は 1889（明治 22）年の「日本法律学校」の設立を前身とし、学祖は当時の司法大臣であった山田顕義です。2019 年現在、16 学部 87 学科、短期大学部 4 学科、通信教育部 4 学部、そして大学院 19 研究科を有する日本最大級の規模を誇る総合大学です。

文理学部は、1901（明治 34）年の高等師範科を前身とし、1958（昭和 33）年に文系・理系の学科を有する「日本大学文理学部」と名称変更されています。現在、文理学部は人文系・社会系・理学系の 3 系統 18 学科を有する全国でも最も学科数が多い学部となっています。教育学科は、1949（昭和 24）年に、大学院教育学専攻は 1961（昭和 36）年に開設されています。文理学部のキャンパスは、近年において、ほとんどの校舎が新築され、広い敷地の中で開放的なキャンパスとなっています。こうした長い伝統的な歴史の中にモダンな雰囲気ミックスされた文理学部において、全国から日本学習社会学会の会員の皆様をお迎えすることができることを大変光栄に思います。

今大会は、特別企画として前川 喜平氏（元文部科学事務次官）による基調講演「安倍政権下の教育政策」を、公開シンポジウムとして「学習社会における教育改革のゆくえ」を企画致しました。基調講演と公開シンポジウムでは、安倍政権の教育改革に果たした役割や課題を検証する予定です。また、課題研究では「多様化する子どもの生活背景に応じた学習」を、学会企画として「島根県仁多郡奥出雲町発 子ども落語を通じた地域創生の試み」も予定しています。「子ども落語」による「地域創成の試み」の紹介は、学会としても初めての試みです。会員の皆様の温かいご支援をお願いしたいと思います。

最後に、懇親会では会員の皆様の懇親の場として、有意義なものとなるように、実行委員会一同で、心からの「おもてなし」を致したいと思います。多くの会員の皆様の参加を心からお待ちしています。

日本学習社会学会第16回大会

(1) 大会期間と会場

期間 2019年9月14日(土)、15日(日)

会場 日本大学文理学部

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40

連絡先 sakuma.kunitomo@nihon-u.ac.jp (佐久間邦友)

(2) 日程 (一部変更の可能性もあります)

各種委員会・理事会	
9月14日(土) 会場：日本大学文理学部 (本館)	
10:30～11:10	年報編集委員会 【本館4階 教育調査室】 研究推進委員会 【本館4階 教育学科会議室】 国際交流委員会 【本館5階 E/M TL】
11:20～12:40	全国理事会 【本館5階 E/M TL】
学会大会1日目	
9月14日(土) 会場：日本大学文理学部 (7号館・図書館)	
12:30～	大会受付・学会受付【7号館1階】
13:00～14:30	第1部 自由研究発表 自由研究発表Ⅰ【7号館2階 7202 教室】 自由研究発表Ⅱ【7号館2階 7203 教室】 自由研究発表Ⅲ【7号館2階 7204 教室】 (休憩)
14:45～15:45	第2部 基調講演【図書館3階オーバルホール】 「安倍政権下の教育政策」 前川 喜平氏 (元文部科学事務次官)
15:45～17:25	公開シンポジウム 「学習社会における教育改革のゆくえ」 【図書館3階オーバルホール】 (休憩)
17:30～18:10	総会【図書館3階オーバルホール】 (移動)
18:20～20:00	情報交換会【第2体育館1階チェリー】

学会大会 2 日目	
9 月 15 日 (日) 会場：日本大学文理学部 (7 号館)	
9:30～	大会受付・学会受付【7 号館 1 階】
9:45～11:45	第 3 部 課題研究：「多様化する子どもの生活背景に応じた学習」 【7 号館 2 階 7202 教室】
11:45～12:30	第 4 部 学会企画：「島根県仁多郡奥出雲町発 子ども落語を通じた地域創生の試み」 【7 号館 2 階 7204 教室】
12:30～13:00	(昼食休憩)
13:00～15:30 (16:00)	第 5 部 自由研究発表 自由研究発表Ⅳ【7 号館 2 階 7202 教室】 自由研究発表Ⅴ【7 号館 2 階 7203 教室】 自由研究発表Ⅵ【7 号館 2 階 7204 教室】

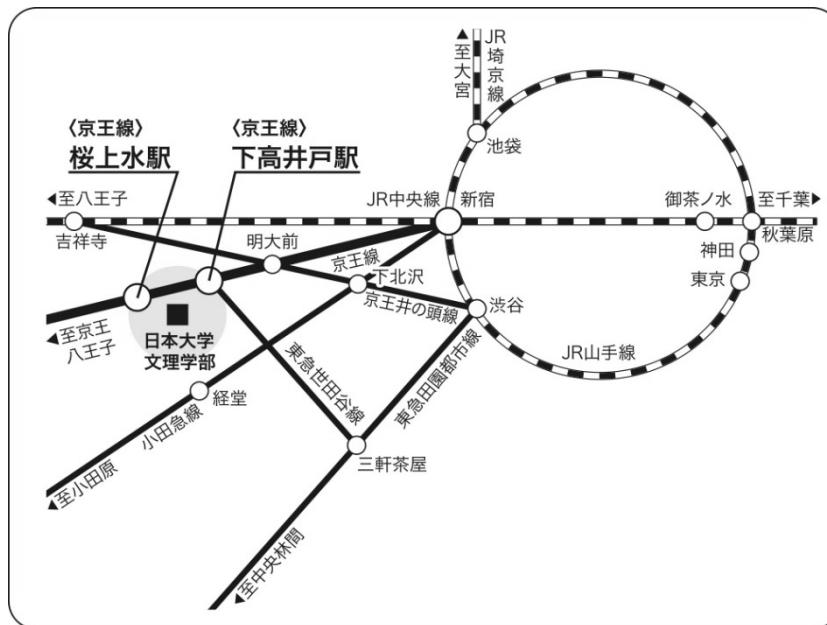
(3) 参加費用

一般会員	2,000 円 (正会員・臨時会員)
院生・学生会員	1,000 円 (院生・学生)
情報交換会 (懇親会)	4,000 円

*「第 2 部 基調講演・公開シンポジウム」及び「第 4 部 学会企画」のみの参加は無料です。

(4) 会場への交通機関

- 京王線・東急世田谷線 下高井戸駅 下車 徒歩8分
- 京王線 桜上水駅（急行停車駅） 下車 徒歩8～10分
- 小田急線 経堂駅 下車 徒歩20～25分



【最寄駅からのルート】



日本大学文理学部のホームページ「交通アクセス」をご覧ください。

<https://www.chs.nihon-u.ac.jp/access/>

(5) ホテルのご案内

東京都内、新宿近郊のホテルは混み合っており、値段設定も幅が広いいため、ご自身でご予約いただければ幸いです。早めのご予約をおすすめいたします。

連絡事項

1. **学会費の納入** 学会員の方は、本年度会費（一般8,000円、学生5,000円）を受付横の学会事務局デスクにて納入ください。

2. **理事会** 9月14日（土）11時20分から全国理事会を行います。昼食は事務局で用意いたします。
なお、会場は本館5階【E/M TL】ティーチングラボラトリー教室です(中央エレベーター付近)。

3. **公開シンポジウム打ち合わせ**
9月14日（土）13：00から、公開シンポジウム打ち合わせを行います。報告者・司会者の方はご出席をお願いいたします。昼食は大会実行委員会で用意いたします。
場所は本館4階教育学科会議室です。

4. **会員控室** 控室として、7号館2階の7205教室を用意しておりますので、どうぞ自由にご利用ください（茶菓の用意有り）。また、7号館1階エントランスも開放されておりますので、併せてご利用ください。

5. **昼食** 学内のコンビニの営業時間は以下の通りです。
9月14日（土） 11：00～14：00
9月15日（日） 11：00～14：00（予定）

大会期間中、構内で日本教育心理学会第61回総会が開催されており、コンビニなどは混雑が予想されます。昼食などは、事前にご準備いただくことをお勧めいたします。

15日（日）の昼食について、お弁当（お茶付）を1,000円で予約販売いたします。同封しましたハガキにてご注文ください。

自由研究発表要領

- 1. 発表時間**

個人研究
発表 20 分、質疑応答 5 分
共同研究（口頭発表者が 2 名以上の場合）
発表 40 分、質疑応答 10 分
- 2. 発表資料**

50 部
※会場校での資料のお預かり及び印刷は、お引き受けできません。
- 3. 発表用機材**

発表に際しては、パソコン（Power Point2016 内蔵）、55 型液晶ディスプレイが利用できます。発表申込みの際に機器使用を申し込まれた方は、データを USB メモリに入れてお持ち下さい。
- 4. 欠席の場合**

発表者がやむを得ず欠席する場合は、下記に必ず連絡してください。発表者が欠席の場合は、発表時間の繰り上げはせず、質疑・休憩の時間に割り当てます。
sakuma.kunitomo@nihon-u.ac.jp（佐久間邦友）
- 5. その他**

発表者は、指定発表時間にかかわらず、各分科会の開始 10 分前までにご来場いただき、司会者に出席を通知してください。また、配布資料がある場合、各会場のスタッフに資料をお渡しいただき、USB データ確認などが必要な場合、その旨お伝えいただければと存じます。

日本大学文理学部キャンパス・マップ

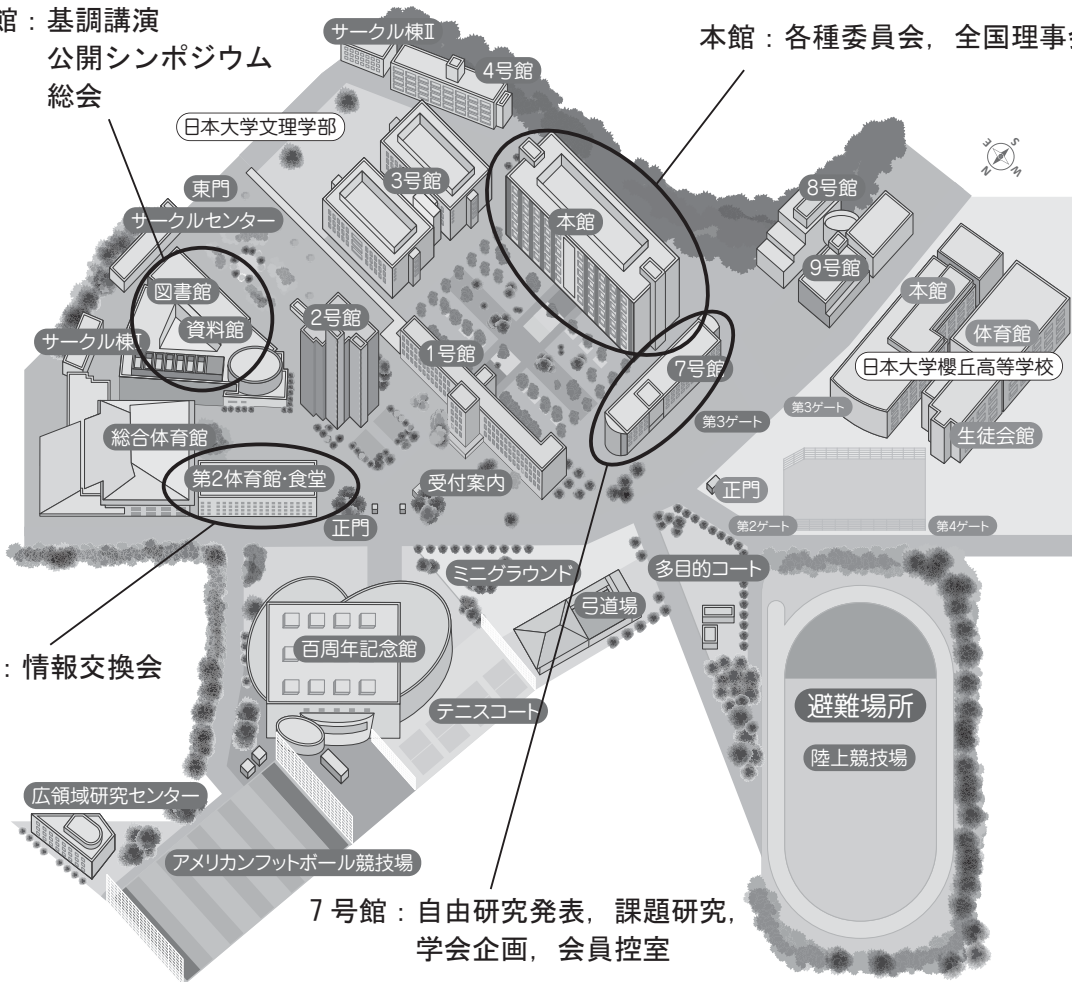
文理学部キャンパスマップ

図書館：基調講演
公開シンポジウム
総会

本館：各種委員会，全国理事会

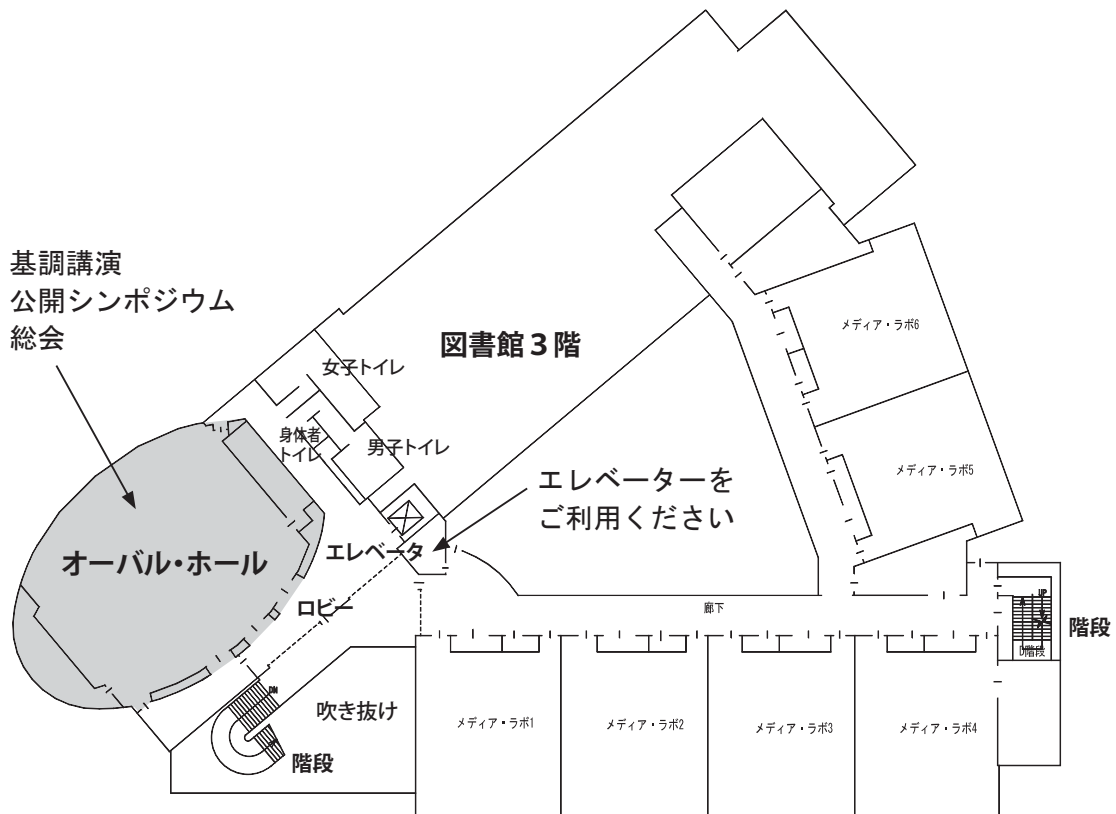
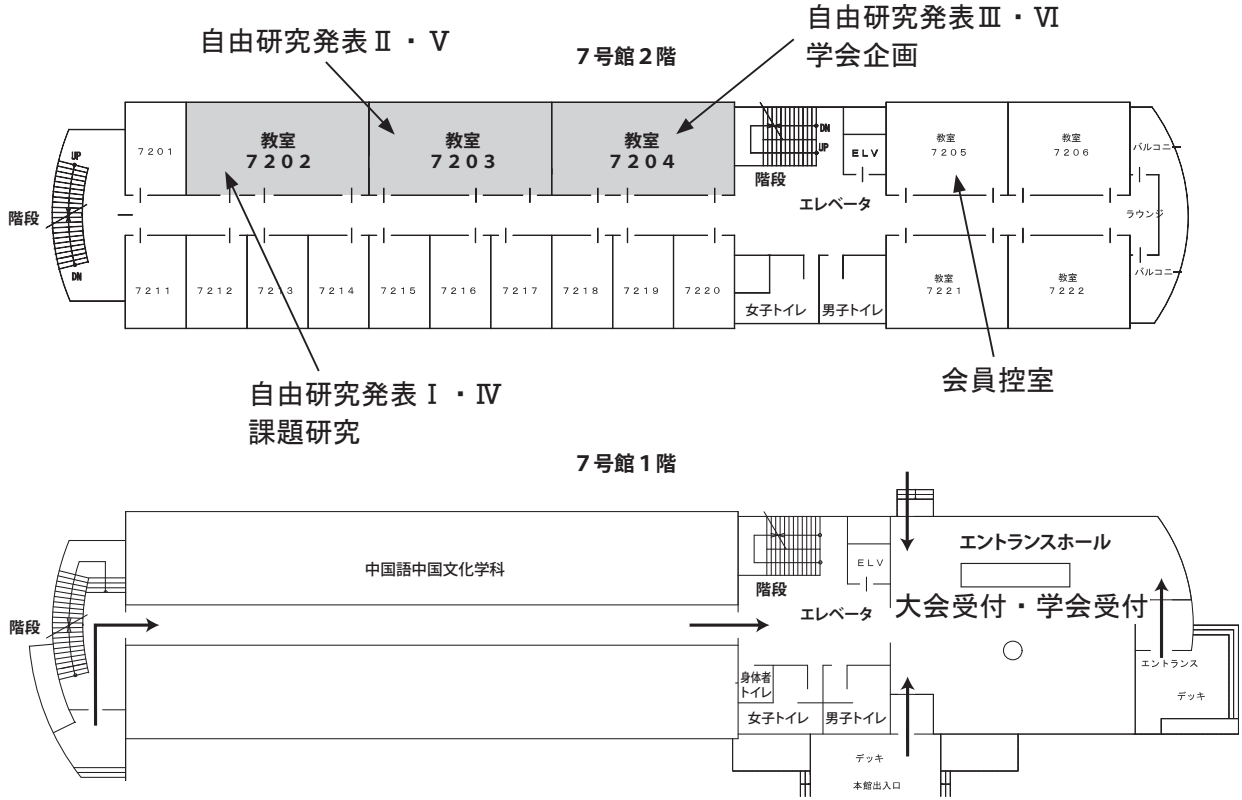
食堂：情報交換会

7号館：自由研究発表，課題研究，
学会企画，会員控室



7号館・図書館・本館 会場マップ

<受付> 正門から入り、右手にお進み頂き、7号館1階までお越しください。



第1部

自由研究発表 I

7号館2階 7202教室

9月14日（土）13:00～14:30

司会 若園 雄志郎（宇都宮大学）

【1】13:00～13:25

公民館講座から広がる地域づくりに関する研究

柴田 彩千子（東京学芸大学）

【2】13:25～14:15

地域における学校の役割

—極小規模校高尾小の実践—

○宮森 健次（島根県松江市立古志原小学校）

○川上 宣久（島根県仁多郡奥出雲町立高尾小学校）

○宮崎 敦子（相模女子大学・非常勤）

14:15～14:30 共同討議

自由研究発表Ⅱ

7号館2階 7203教室

9月14日（土）13:00～14:30

司会 平井 貴美代（山梨大学）

【1】13:00～13:25

高等学校国語科におけるアクティブラーニングの実践

星野 寛（東京都立瑞穂農芸高等学校）

【2】13:25～13:50

高等学校カリキュラムの現状分析に基づく新たな教育課程編成の実態
ーカリキュラム・マネジメント機能を活かした取組みへの課題ー

梶 輝行（横浜薬科大学）

【3】13:50～14:15

中学校・高等学校の特別活動における生徒の「合意形成」への心理学的影響要因と指導
方法に関する一考察

吉田 佳恵（横浜薬科大学・非常勤）

14:15～14:30 共同討議

自由研究発表Ⅲ

7号館2階 7204教室

9月14日（土）13:00～14:30

司会 金塚 基（東京未来大学）

【1】13:00～13:25

子どもの歌・宮城道雄「童曲」の教育的意図の考察

山下 真由美（函館短期大学）

【2】13:25～13:50

小規模自治体における障害児支援に係る社会資源開発政策の特質に関する事例研究

田中 謙（日本大学）

【3】13:50～14:15

「ひきこもり」支援施設の活動と学習

桑原 啓（京都大学大学院・院生）

14:15～14:30 共同討議

基調講演（公開）

「安倍政権下の教育政策」

前川 喜平 氏（元文部科学事務次官）

図書館3階 オーバルホール

9月14日（土）14：45～15：45

安倍政権下で文部科学省の要職を務め、2016年からは事務官トップの文部科学事務次官として教育政策を担った前川喜平氏をお招きし、近年の教育改革の成果や課題、そして教育政策の「裏舞台」についてお話いただく予定です。国の重要な教育政策を推進し、時には政策の軌道修正を図り、常にブレなく真正面に向き合う前川氏の姿勢はマスコミなどを通じて広く知られているところです。また、同氏には教育改革のほか、様々な教育事案にも触れていただき、現在の教育の在り方を検証するためのヒントを示していただきます。

前川氏の歯に衣着せぬ、痛快とも言える語りからは多くの知見が得られることとされています。会員はもちろん、会員以外の多くの皆様のご参集を歓迎申し上げます。

前川氏には、この後に開催される公開シンポジウムにもご登壇いただきます。

プロフィール

東京大学法学部卒業後、文部省（現・文部科学省）入省。宮城県出向（教育委員会行政課長）、在フランス大使館一等書記官、文部大臣秘書官事務取扱、教育助成局教職員課長、初等中等教育局教職員課長・財務課長・初等中等教育企画課長、大臣官房総括審議官・官房長、初等中等教育局長、文部科学審議官、文部科学事務次官を歴任。2017年1月20日、文部科学事務次官退任。2018年4月から日本大学文理学部講師。

主著『面従腹背』毎日新聞出版、『ハッキリ言わせていただきます！ 黙って見過ごすわけにはいかない日本の問題』集英社（谷口真由美と共著）、『これからの日本、これからの教育』ちくま新書、『前川喜平 教育のなかのマイノリティを語る』明石書店（対談集）など。

公開シンポジウム

学習社会における教育改革のゆくえ

図書館3階 オーバルホール
9月14日（土）15:45～17:25

安倍政権下で進められている近年の教育改革にはどのような功罪があるのでしょうか。2006年に発足した第一次安倍政権下（2006年9月～2007年8月）では、「教育基本法」の改正がなされました。第二次安倍政権（2012年12月）では、「教育再生」が掲げられ、「教育再生実行本部」を中心とした首相・官邸主導による政策形成が行われ、その素早さと成果には目覚ましいものがあります。

たとえば、「道徳の教科化」「いじめ防止対策推進法の制定」「教育委員会改革」「大学改革」「義務教育学校の制度化」「小学校英語の教科化」「教員制度改革」など、わが国にとっては戦後から懸案とされてきた重要な教育政策が続々と具現化されています。

こうした個別の教育政策の是非を検討することも大切ですが、第二次安倍政権以降の教育改革の核心に迫り、その本質を見定めることも重要だと言えます。そこで、本シンポジウムでは、学習社会の重要課題である多様な学びの機会の保障という観点から、登壇者にはそれぞれの専門的立場でどうあるべきかを論じてもらうことを目的としました。

まず、前川喜平氏には基調講演を踏まえて、現代教育改革の理念の本質に迫っていただきます。続いて、福田誠治会員には、フィンランドの教育改革を踏まえて国際比較の視点から日本の教育改革の特徴と課題を浮き彫りにしていただき、柏木智子会員には、具体的課題の一つである近年の貧困・社会的排除の実態を紹介しつつ、こうした問題解決に向けた地域・行政と学校教育の連携の重要性を論じていただく予定です。そして、北野には、学力テスト政策の動向に焦点をあて、次第に米国のハイスティクス・テストに接近する日本の学力政策の実態に言及していただくこととしました。

シンポジウムではフロアとの質疑・意見交換等の機会も設ける予定ですので、多くの会員や関係者等の皆様の参加を期待しております。

スピーカー：前川 喜平（元文部科学事務次官）

福田 誠治（都留文科大学学長）

柏木 智子（立命館大学准教授）

北野 秋男（日本大学文理学部教授）

モデレーター：佐藤 晴雄（日本大学文理学部教授）

※基調講演及び本公開シンポジウムのみ参加は無料です。また、学会員以外の方の参加も歓迎します。

[登壇者のプロフィール]

前川 喜平 氏 基調講演のページに記載

福田 誠治 会員

東京大学教育学部卒後、同大学院博士課程満期退学。都留文科大学専任講師・助教授・教授を経て、2014年から都留文科大学学長。比較教育学を専門とし、特に、フィンランドの教育の姿を問うたことで、研究者のみならず、学校現場からの高い関心を寄せられている。

近著に、『フィンランドは教師の育て方がすごい』叢書(2009)、『こうすれば日本も学力世界一 フィンランドから本物の教育を考える』朝日選書(2011)、『フィンランドはもう「学力」の先を行っている 人生につながるコンピテンス・ベースの教育』叢書(2012)、『国際バカロレアとこれからの大学入試改革 知を創造するアクティブ・ラーニング』叢書(2015)、『ネオリベラル期教育の思想と構造—書き換えられた教育の原理』東信堂(2017)などがある。

柏木 智子 会員

大阪大学人間科学部卒後、同大学院人間科学研究科博士後期課程修了。博士(人間科学)。大阪国際大学短期大学部専任講師、大手前大学総合文化学部准教授を経て、2017年から立命館大学産業社会学部准教授。教育経営学・生涯学習を専門とし、近年は子どもの貧困問題などに焦点を当てた研究を手がける。

主著に、『子どもの貧困・不利・困難を越える学校—行政・地域と学校がつながって実現する子ども支援』(仲田康一と共編)学事出版(2017)、『「学校における働き方改革」の先進事例と改革モデルの提案』(藤原文雄編、共著)学事出版(2019)、『子どもの貧困対策と教育支援—より良い政策・連携・協働のために』(末富芳編、共著)明石書店(2017)、『講座 現代の教育経営 3 教育経営学の研究動向』(日本教育経営学会編、共著)学文社(2018)などがある。

北野 秋男

日本大学文理学部卒後、同大学院文学研究科博士後期課程満期退学。博士(教育学)。日本大学国際関係学部専任講師を経て、2001年から日本大学文理学部教授。アメリカの教育史・教育思想史が専門であったが、現在は日米の学力テスト政策の比較研究を主たる研究テーマとする。

主著に、『アメリカ公教育思想形成の史的研究—ボストンにおける公教育普及と教育統治—』(単著)風間書房(2003年)、『現代アメリカの教育アセスメント行政の展開—マサチューセッツ州(MCASテスト)を中心に—』(編著)東信堂(2009年)、「現代米国のテスト政策と教育改革—『研究動向』を中心に—」日本教育学会『教育学研究』第84巻第1号(2017年)27-37頁、『現代学力テスト批判—実態調査・思想・認識論からのアプローチ—』(共著)東信堂(2017年)などがある。

佐藤 晴雄

埼玉大学教育学部卒後、東京学芸大学大学院修士課程修了。現職中に、大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。博士(人間科学)。東京都大田区教育委員会社会教育主事、帝京大学専任講師・助教授を経て、2006年から日本大学文理学部教授。社会教育・教育経営学を専門とする。本学会の第4期副会長、第5期会長。

主著に、『コミュニティ・スクールの全貌』(編著)風間書房(2018)、『コミュニティ・スクールの成果と展望』ミネルヴァ書房(2017)、『コミュニティ・スクール』エイデル研究所(2016)、『研修・講座のつくりかた』東洋館出版社(2013)などがある。

- メモ -

総会

図書館3階 オーバルホール

9月14日（土）17:30～18:10

総会をご欠席の場合は、委任状を必ずご郵送ください(大会当日は受付にお渡しください)。

情報交換会

第2体育館1階 チェリー

9月14日（土）18:20～20:00

奮ってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。なお、事前申し込みをされていない場合でも参加可能です。

課題研究

多様化する子どもの生活背景に応じた学習

7号館2階 7202教室

9月15日（日）9：45～11：45

本課題研究では、外国にルーツのある子どもたちをはじめとした多様な生活背景をもつ児童生徒の増加に学校教育はどのような対応が求められるのか、学校外の機関や地域社会・保護者とのような連携を取っていくことが求められるのか考えていきたい。

文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査（平成28年度）」の結果によると、日本語指導が必要な外国籍の児童生徒は 34,335 人（29,198 人）で前回調査（平成26年度）より 5,137 人（17.6%）増加し、過去最多となった。日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒も 9,612 人（7,897 人）おり、4万人を超える児童生徒が、日本語指導が必要な状態にある。しかしながら、同調査では必要な日本語指導を十分に受ける体制が整っていないことも指摘されている。また、日本語指導以外にも学校への「適応」など生活や文化的な側面からの支援も不可欠であろうし、学校側が変容を促されることもあるかもしれない。

4月に行った研究推進委員会では、「『国際教室』考える外国にルーツのある児童生徒の現状と課題」というテーマで研究会を行い、横浜市立東小学校の取り組みから、日本語指導にとどまらない、児童生徒への支援体制の必要性、学校だけでなく、行政や地域社会、保護者との連携が求められることなど学びを深めることができた。この研究会を受け、本課題研究では、多様な生活背景を持つ子どもたちに「応答」する学校、学校外の組織・専門化、地域社会・保護者の現状と課題、展望について探っていきたい。

報告1： マイノリティの子どもへの支援にかかわる他機関・多職種連携（仮）

武井哲郎（立命館大学）

報告2： 外国にルーツのある子どもへの指導・支援（仮）

南浦涼介（東京学芸大学）

報告3： 大阪市「多文化共生教育相談ルーム」の取り組みから（仮）

山田文乃（大阪市立高津小学校・大阪市教育委員会多文化共生教育相談ルーム相談員）

司会： 若槻健（関西大学）

第4部

学会企画

「島根県仁多郡奥出雲町発 子ども落語を通じた地域創生の試み」

7号館2階 7204教室

9月15日（日）11:45～12:30

司会：岩崎 正吾（首都大学東京名誉教授）

川上 宣久（島根県仁多郡奥出雲町立高尾小学校教諭）

企画説明：桑山 悟（島根県仁多郡奥出雲町立高尾小学校校長）

説明は寄席半ばの仲入り内（プログラム⑥）で行う

出演：青葉亭 八朔（藤原 朔也 6年）

青葉亭 ゆうかり（和泉 侑果 6年）

青葉亭 ひまわり（乙社 ひまわり 6年）

青葉亭 はな歌（藤原 良 5年）

プログラム：

- ① 奥出雲町ケーブルテレビニュース視聴（5分）
- ② 作文発表（青葉亭 八朔）
- ③ ごあいさつ（三方に向かって礼）
- ④ 落語 青葉亭 はな歌 「大安売り」
- ⑤ 落語 青葉亭 ひまわり 『『ん』まわし』仲入り
- ⑥ 企画説明（学校紹介、にこにこ寄席紹介）桑山 悟校長（仲入り内で）
- ⑦ 落語 青葉亭 ゆうかり 「皿屋敷」
- ⑧ 落語 青葉亭 八朔 「還付金詐欺」
- ⑨ ごあいさつ（三方礼）

※当日、出演者（児童）及び演目に若干の変更があるかもしれません。

企画の趣旨：

学会企画「子ども落語を通じた地方創生の試み」は、過疎地域の小規模校の児童たちが総合的な学習の時間を中心に落語による表現方法を学び、臆して人前で話すことのできなかつた児童たちが堂々と語るようになり、落語というツールをもって地域に出かけ、地域の人々と触れ合い、笑ってもらうことによって自信をつけ、さらなる向上を目指すという、学校と地域とが

一体となって学びを推進している実践事例の紹介である。本時は、子どもたちによる落語の実演を通して、学びの成果としての表現力の向上を会場一体となって体験してもらう絶好の機会として企画したものである。

島根県仁多郡奥出雲町立高尾小学校は、広島県との県境に近い中山間地域にある全校児童9名の極小規模校で、限界集落になぞらえるならば限界小学校と言っても過言ではない。ただ、「地域にへき地はあっても、教育にへき地はあってはならない」の信念のもと、「ちっちゃな学校のでっかい教育」の実現を、学校・地域が一体となって努力をしており、限界を感じさせない。

島根県では、極めて小規模の小学校には、養護教諭及び事務職員は配置されず、さらに教頭に対して担任兼務を命じられることがある。平成25年(2013年)4月、高尾小学校に着任した宮森教頭は、いわゆる担任教頭として、中学年若葉学級4名の担任となった。

宮森教頭はこの激務ポジションを、自学級が持てる最後のチャンスとしてとらえ、常々思い描いていた落語教育を導入する。宮森が落語を導入したのは、高尾小の児童は、地元高尾小で6年間を過ごし、中学校はバスで統合中学校に通う。統合中学校では、極小規模校では経験したことのない1クラス20~30人の生徒がいる新しい環境が待ち受けている。そこで、地元での6年間に落語活動を通じた地域の人々との交流を通じて、自己表現力の向上と、もの怖じしないたくましい心の育成を地域ぐるみで応援し、中学校へ送り出したいと考えたのである。

落語の成長は何よりも「場数を踏む」ことだと宮森は言う。若葉学級は年間30を超える寄席のオファーに積極的に応え、地域との絆を確かなものにしていった。落語を始めて4年。宮森が始めた「高尾小にこここ寄席」は、宮森在任中の4年間の間に、中学年学級から全校落語にスケールアップし、1・2年生の双葉学級・双葉亭、3・4年生の若葉学級・若葉亭、5・6年生の青葉学級・青葉亭の喋家で組織されるようになった。

宮森が異動した後も、「高尾小にこここ寄席」は、地域・保護者の強力なサポート体制のもと、地元をはじめ、県内からの出演依頼に出来る限り応え、曜日を問わず活動している。7年目を迎えた今日では、「笑い与健康」をテーマに掲げる寄席の他に、「防災落語」、「防犯落語」といった寄席も展開し、現在の桑山悟校長の教育ビジョンである、「広い視野を持ち、夢と誇りを胸に、高尾と生きる児童の育成—自律と貢献—」の一つの柱となっている。

その子ども落語の実演をご覧いただき、高尾小が育んできた地域創成への力を感じ取っていただきたい。

第5部

自由研究発表Ⅳ

7号館2階 7202教室

9月15日（日）13:00～15:30

司会 柴田 彩千子（東京学芸大学）

【1】13:00～13:25

「やまぐち型地域連携教育」の取組による成果検証に係る調査からの考察

静屋 智（山口大学教職大学院）

【2】13:25～13:50

今沢慈海の図書館教育観

石橋 豊之（岐阜女子大学／筑波大学大学院・院生）

【3】13:50～14:15

高校生における和食文化教育と社会教育との関連性

—首都圏と地方都市との比較を中心として—

手塚 貴子（函館短期大学／日本大学大学院・院生）

【4】14:15～14:40

地域と学校の協働を支えるコミュニティの活動基盤に関する一考察

西村 彩恵（東京福祉大学）

【5】14:40～15:05

地域の学びを推進する仕組みづくり

～宇宙教育連携拠点の活動から～

桜庭 望（宇宙航空研究開発機構宇宙教育センター）

15:05～15:30 共同討議

自由研究発表 V

7号館2階 7203教室

9月15日（日）13:00～16:00

司会 武井 哲郎（立命館大学）

【1】13:00～13:25

後期中等教育における「機会均等」の一つの実相
—大阪府の隔週定時制高校に関して—

鍛冶 直紀（関西大学・非常勤）

【2】13:25～13:50

各種申請書類からみた東京鉄道中学

長谷川 晴通（静岡県立大学・科目等履修生）

【3】13:50～14:15

外国につながる子どもたちの就学支援の現状と課題
—地方小都市における地域と学校の連携事業の試み—

星野 洋美（常葉大学大学院）

【4】14:15～14:40

日本における外国籍児童の教育の現状と課題

田中 真奈美（東京未来大学）

【5】14:40～15:05

道徳の教科化で生じた問題—今、小学校の現場で起こっていること—

本間 夏海（日本経済大学）

【6】15:05～15:30

児童生徒・学生の発達段階における自己肯定感の差異への一考察
—各校種児童生徒等のアンケート調査を通して—

末吉 雄二（日本大学大学院・院生）

15:30～16:00 共同討議

自由研究発表VI

7号館2階 7204教室

9月15日（日）13:00～15:30

司会 金山 光一（都留文科大学）

【1】13:00～13:25

アルナーチャル・プラデシュ州タワン県におけるSSA教員の問題
—多文化教育の視点から—

新関 ヴァッド 郁代（早稲田大学大学院・院生）

【2】13:25～13:50

中国上山下郷運動における知識青年の「再教育」に関する考察

趙 天歌（早稲田大学大学院・院生）

【3】13:50～14:15

グースプログラムの成立にかんする考察

桑原 清（札幌保健医療大学・非常勤）

【4】14:15～14:40

観光教育と人材育成

—沖縄における出前授業を中心に—

大庭 由子（安田女子大学）

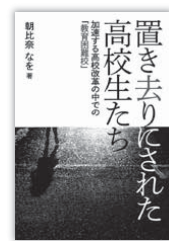
【5】14:40～15:05

保育者養成課程での健康課題に対する学生の遂行力と達成力に関して

二階堂 あき子（鶴川女子短期大学）

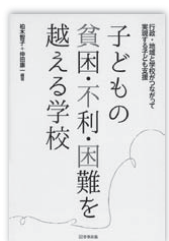
15:05～15:30 共同討議

置き去りにされた高校生たち



置き去りにされた高校生たち
 朝比奈なを 著
 ●四六判・224頁 ●定価(本体1800円十税)
 ISBN9784176192248
 ●朝比奈なを 著
 ●朝比奈なを 著
 大学入試改革、学習指導要領改訂と改革の続く高校で、置き去りにされた高校生はいないか。教育困難校の実態から高校改革の課題に迫る渾身のレポート。
 対象：高校教師、その他一般

子どもの貧困・不利・困難を越える学校



子どもの貧困・不利・困難を越える学校
 柏木智子・仲田康一 編著
 ●A5判・160頁 ●定価(本体1800円十税)
 ISBN9784176192315
 困難な状況にある子どもたちへ、学校は学校として何ができるのか。そして、行政・地域とはどう連携を図ればよいのか。具体的な実践を紹介しながら、その方途を示す1冊。
 対象：小・中・高校管理職

行政・地域と学校がつながって実現する子どもも支援

月刊生徒指導



月刊生徒指導
 ●毎月13日発売 ●B5判
 ●定価(本体800円十税・年間誌代12620円(税込)・増刊2冊含む)
 小学校から高校の先生を対象とした、生徒指導の諸課題への取り組み方と、学級経営の技術や考え方を論じた雑誌。
 対象：小・中・高等学校教師、生徒指導担当教員

月刊高校教育



月刊高校教育
 ●毎月13日発売 ●B5判
 ●定価(本体900円十税・年間誌代14634円(税別)・増刊2冊含む)
 高校教育の現状や課題を鋭く追求し、学校経営の考え方や事例を掲載した、高等学校管理職必携の雑誌。
 対象：高等学校管理職

学事出版

ご注文は

TEL03-3253-4626
 FAX 0120-655-514

http://www.gakuji.co.jp

SDGsとまちづくり

—持続可能な地域と学びづくり

田中治彦・枝廣淳子・久保田崇 編著

●208頁
 本体3000円



「持続可能性」を実現するまちづくりを担う地域人材を育てるための「学びづくり」に注目。教育活動の実践、住民参加・子ども・マイノリティ等の最新事情を論ずる。

SDGs時代の教育

—すべての人に質の高い学びの機会を

北村友人・佐藤真久・佐藤学 編著

●304頁
 本体3000円



SDGsの実現に向けて、人間にとって根源的な喜びである教育を通じた人材育成や知の創出を目指し鋭い執筆陣が多彩に論じる。

「ESDでひらく未来」シリーズ

社会教育・生涯学習論

—すべての人が「学ぶ」ために必要なこと

鈴木敏正・朝岡幸彦 編著

●168頁
 本体1900円



「誰もが排除されることのない、持続可能な地域」づくりを進めるため、当面する課題とそれらに取り組む諸実践を具体的に示し、今後の発展方向をさぐる。

多文化・多民族共生時代の世界の生涯学習

岩崎正吾 編著

●224頁
 本体2000円



日本における国際化と多文化化と生涯学習の状況と課題、また米、国、カナダ、英国等の最新事情を取り上げ、国によって異なる特徴をもつ「共生」のあり方を論述。

講座 転形期の社会教育 鈴木眞理 編集代表

- I 社会教育の基礎 —転形期の社会教育を考える
 松岡廣路・松橋義樹・鈴木眞理 編著 ●本体2500円
- II 社会教育の連携論 —社会教育の固有性と連携を考える
 鈴木眞理・伊藤真木子・本庄陽子 編著 ●本体2300円
- III 社会教育の施設論 —社会教育の空間的展開を考える
 鈴木眞理・井上伸良・大木真徳 編著 ●本体2300円
- IV 社会教育の学習論 —社会教育がめざす人間像を考える
 鈴木眞理・青山鉄兵・内山淳子 編著 ●本体2300円
- V 社会教育の公共性論 —社会教育の制度設計と評価を考える
 鈴木眞理・稲葉隆・藤原文雄 編著 ●本体2300円
- VI 社会教育・生涯学習研究のすすめ —社会教育の研究を考える
 津田英二・久井英輔・鈴木眞理 編著 ●本体2500円

講座 現代学校教育の高度化 シリーズ 小島弘道 監修

- 生涯学習と学習社会の創造
 佐藤晴雄・望月厚志・柴田彩千子 著 ●本体2100円 176頁
- 学校づくりと学校経営
 小島弘道・勝野正章・平井貴美代 著 ●本体2500円 184頁
- 学校学力から生涯学力へ —変化の時代を生きる
 前田耕司・佐藤千津 編著 ●本体1700円 160頁
- テキスト生涯学習 新訂版 —学びがつむぐ新しい社会
 田中雅文・坂口緑・柴田彩千子・宮地孝宜 著 ●本体1700円 160頁

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1
 http://www.gakubunsha.com

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012
 E-mail: eigyo@gakubunsha.com

コミュニティ・スクールの全貌

佐藤晴雄編著 4000円
コミュニティ・スクールの活動実態や校長の意識を明らかにした最新の調査を取りあげ、その有効性と課題を考察。今後の政策・実践や研究に資するデータを示した。

コミュニティ・スクールの研究

佐藤晴雄編著 4300円
学校運営協議会を置くコミュニティ・スクールの全国調査の結果と事例を取りあげ、その実態と成果を明らかにしている。研究書や実践参考書として活用できる唯一の関係書。

日本における高齢者教育の構造と変遷

久保田治助著 6500円
近代以降の日本高齢者教育の変遷を、各時代の社会状況と高齢者像をもとに考察。戦後の高齢者教育の構造と展開を学習理念と学習内容を中心に分析した新著。

教育経営における責任・統制構造に関する研究

三浦 智子著 7500円
我が国における教育経営の統制と責任の構造について実態を解明。学校の「アカウンタビリティ」の保障を図る上で、その構造が抱える課題について検討を試みる。

生涯学習参加による学習プログラム開発過程に関する研究

金藤ふゆ子著 11500円
日本の生涯学習関連施設の学習プログラム開発過程を明らかにするため、学習プログラムの類型化を図り、各型を分ける規定要因を実証的に解明した労作。

アメリカ公教育思想形成の史的研究

北野 秋男著 10000円
アメリカの公教育思想形成の史的展開を政治・経済・宗教・文化などの多角的視点から解明。ボストンのエリート階級による博愛思想に基づく公教思想の成立に注目。

日米のテスト戦略

北野 秋男著 2000円
「全国学力テスト」の本当のねらいは何か？ 子ども、教師、学校を追い込む競争主義的、結果主義的な教育を見直し、日米のテスト政策導入の経緯と実態を比較検証。

米国公立学校教員評価制度に関する研究

藤村 祐子著 7000円
本書は、アメリカの教員評価制度について、歴史的な変遷を踏まえた上で形成的機能に注目し、成立・展開過程、実施状況を解明した。

社会教育主事に求められる役割

桜庭 望著 6500円
歴史的背景から社会教育主事制度の変遷を辿り、所属組織やキャリアが資質・能力獲得に与える影響を実証的に研究。今日の社会教育主事に期待される姿を論ずる。

生涯学習参加による学習動機づけと学習方略

浅野志津子著 8000円
社会人学生などのような学習動機づけ(認知的学習動機と楽しさ)と学習方略が、学習への積極性と継続性に影響を及ぼしているのかを質問紙・面接調査により検討した。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34
TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

風 間 書 房

(URL) <https://www.kazamashobo.co.jp>
メールアドレス pub@kazamashobo.co.jp

唯一の生涯学習・社会教育実務六法

担当者の日常業務に役立ちます

以下の5つの章構成により、必要な情報を見つけやすい内容構成としています。

- 1 基本法令
- 2 主要答申等
- 3 社会教育関係職員・社会教育関係施設
- 4 生涯学習・社会教育関係施策
- 5 財務等

財務関係も収録

生涯学習・社会教育関係の財務について見直し、最新の内容を提供しています。

社会教育関係団体必携！

教育委員会、公民館、図書館、博物館、社会教育関係団体などにとって欠くことのできない法令通知集です。

生涯学習関係の情報を網羅

生涯学習関係の法律・省令等の改正を網羅し、生涯学習関係の主要答申を全文掲載しています。

生涯学習・社会教育行政必携

令和2年版

編集 生涯学習・社会教育行政研究会 A5判 1,436頁 定価：本体5,000円+税



商品の詳細、お申込みは



第一法規

検索

CLICK!



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560
<https://www.daiichihoki.co.jp>

ご注文はWEBからも承ります。

☎ Tel. 0120-203-694

☎ Fax. 0120-302-640

教職概論

教師を目指す人のために
〈第5次改訂版〉

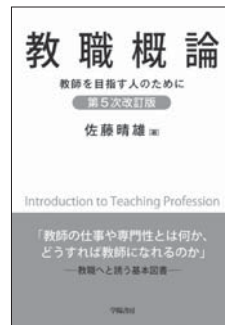
佐藤 晴雄 [著] 定価 2,599円(税込)
A5判 240頁 2018年3月刊

☆教職に就こうとする学生や教職導入単位を教える先生からの圧倒的な支持を受けている1冊!

☆教育改革に伴う法改正や制度改革を盛り込み、資料等を最新データに更新。

☆教育実習総論のテキストとして、また、採用試験対策の参考書として最適。

採用試験対策の参考書として最適。



現代教育概論

第4次改訂版

佐藤 晴雄 [著] 定価 2,599円(税込)
A5判 260頁 2017年2月刊

☆教育学の基礎理論を踏まえながら、現代の教育改革をめぐる動向や教育課題を考察。

☆単なる概論書にとどめず、最新の実践的事項を詳述。

☆初学者のテキストに、また教職採用試験の参考書に最適。



生涯学習概論

第1次改訂版

佐藤 晴雄 [著] 定価 2,700円(税込)
A5判 232頁 2016年3月刊

☆生涯学習および社会教育の歴史にはじまり、今後の問題までを、バランス良く、平易な書き方で概括した基本図書。

☆重要事項や必要なデータをきちんと抑えたバランスの良い内容。



学陽書房

〒102-0072東京都千代田区飯田橋1-9-3 TEL 03-3261-1111 FAX 03-5211-3300

学習指導要領の

読み方・活かし方

2020年
学習指導要領
解説の決定版



学習指導要領を「使いこなす」ための8章

★改訂に携わった文科省担当者がわかりやすく解説!

[著] 合田哲雄(文部科学省初等中等教育局財務課長) A5判/190頁/定価(本体1,600円+税)

教育開発研究所 東京都文京区本郷2-15-13 TEL:03-3815-7041

注文は
こちら→



好評既刊

教育学の試み

宇都宮大学名誉教授
中村 清
NAKAMURA, Kiyoshi

多様な文化に開かれた人間形成をめざして



世界を震撼させるテロ、
その背景にある貧困・格差の問題、
そして宗教や民族、政治など、
グローバル社会における深刻な異文化対立！

**いま私たちに必要なのは、文化の違いをこえて
平和に共存する人間を形成する教育ではないか。
本書は、この教育の可能性を探究する試みである。**

■ 主な内容

第Ⅰ部 教育とは何か

- 第一章 教育の概念
- 第二章 発達段階と教育
- 第三章 社会化と教育
- 第四章 教育の諸相
- 第五章 道徳教育

第Ⅱ部 これからの公教育

- 第六章 学校教育
- 第七章 教育と政治
- 第八章 多文化国家の公教育

■ 四六判・並製・232頁

■ 定価：本体 ¥1,600+税 ■ ISBN: 978-4-7887-1458-8

時事通信出版局 営業企画部

〒104-8178 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル 8F

TEL : 03-5565-2155 FAX : 03-5565-2168

月刊「教育展望」

毎月1日発行、A5判、64頁、448円+税

2019年 特集

9月号 資質・能力を育む言語能力の育成

7・8月合併号 AI時代の教育

― AI時代に身につけたい資質・能力とは ―

6月号 新学習指導要領における学習評価について

5月号 主体的・対話的で深い学びが授業を変える

4月号 カリキュラム・マネジメントが学校を変える

3月号 資質・能力を伸ばす評価活動

1・2月合併号 『教育展望』創刊700号を語る

2018年 特集

12月号 第47回教育展望セミナー 分科会報告

11月号 第47回教育展望セミナー 全体会報告

10月号 教育の情報化の動向と課題

9月号 巨大地震に備える防災教育の視点

7・8月合併号 改めて問う、深い学びとは

6月号 学校における働き方改革を探る

5月号 子どものいじめ・自殺問題と学校教育

4月号 新しい学校文化の創造

3月号 新学習指導要領から見える新しい授業像

1・2月合併号 明日をみざす日本の教育像

「教育展望」臨時増刊

セミナー研究討議資料
A5判、2381円+税

No.51 (第48回教育展望セミナー)

2019年7月発行、124頁

これからの時代に向けた教育の改革と創造

― AIの時代を視野に入れた教師力 ―

No.50 (第47回教育展望セミナー)

2018年7月発行、124頁

資質・能力を育成する教育課程の編成と実施II

教育調査研究所

一般財団法人

〔理事長 新井郁男〕

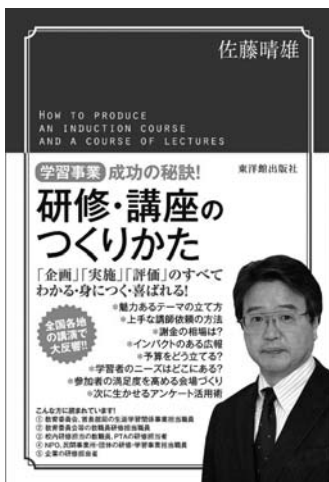
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10

TEL : 03-3238-6974 FAX : 03-3238-6975

E-Mail : chouken@estate.ocn.ne.jp

学習事業 成功の秘訣！

研修・講座のつくりかた



佐藤 晴雄 [著]

四六判 / 264 頁 / 2300 円 + 税

どうやって企画を立てたらいいのか、よくわからない…
参加者が思うように集まらない…
講師とトラブルになってしまった…
広報ってどうやればいいの？
司会で失敗してしまった…
がんばったのに、誰も褒めてくれない…
次こそは、うまくやりたい！
…そんなすべての悩みに応えます。
生涯学習、社会教育関係者必見！
今までありそうでなかった学習事業成功のノウハウをこの1冊にコンプリート！

東洋館出版社

〒113-0021 東京都文京区本駒込 5-16-7 URL : <http://www.toyokan.co.jp/>
Tel.03-3823-9206 Fax.03-3823-9208

教育学へのアプローチ ～教育と社会を考える 18 の課題～

北野秋男 編 宮島健次 / 黒田友紀 / 長嶺宏作 著
ISBN 978-4-87448-034-2 A5 判・本体価格 2,158 円 + 税

本書は、大学で教員免許を取得しようとする学生、ないしは教育の問題に興味・関心を持つ人々を対象として、「教育学」や「教育制度」を広く深く学ぼうとする人を対象に編集・刊行した。本書では教育における「根源的な問題」を提示し、その問題の「歴史的な経緯と背景」を説明しつつ、「将来的に予想される解決すべき問題点」をわかりやすく解説している。本書の「ねらい」は、様々な教育改革を具体的事例としながら、今何が問われ、将来的には何が改善されるべきかを読者と共に考えることを意図したものである。

教員養成のしくみとインターンシップ —教員の実践的指導力形成のために—

永塚史孝 著 A5 判・本体価格 1,600 円 + 税
ISBN 978-4-87448-033-5

新訂 わかりやすく学ぶ教育制度 —課題と討論による授業の展開—

北野秋男 編 金泰勲 / 矢治夕起 / 谷本宗生 著
ISBN 978-4-87448-026-7 A5 判・本体価格 2,000 円 + 税

教育思想のルーツを求めて —近代教育論の展開と課題—

関川悦雄 / 北野秋男 著
ISBN 978-4-87448-028-1 A5 判・本体価格 1,743 円 + 税

こどもの運動あそび ～幼稚園・保育所での実技指導～

橋本妙子 / 堀内弓子 著
ISBN 978-4-87448-025-0 本体価格 1,781 円 + 税

こころの発達と学習の心理

岡村一成 著 A5 判 / 本体価格 1,781 円 + 税
浮谷秀一 著 ISBN 978-4-87448-022-9

啓明出版(株)

◆価格は【本体価格+税】で表示しています。
ご注文は最寄りの書店、購買部または小社にお願いします。
営業部 〒182-0004 東京都調布市入間町 1-13-1

TEL.03-3307-2669
FAX.03-3307-2676

月刊 先端教育

リカレント、ラーニング、人材育成
月刊 先端教育
ADVANCED LEARNING
創刊準備号

社会は変わる。教育は変わるか？

- ▶ 社会変化を読み解き、教育の未来を描く「教育総合誌」
- ▶ 学校教育はもちろんリカレント教育、企業内人材育成、就学前教育など、あらゆる「学び」を多彩な切り口で分析
- ▶ 無料オンラインメディアも年内スタート

◎ 特集予定

10月号 AI人材25万人計画の成否 / 見直される企業内大学

11月号 忍び寄る学校倒産時代～学校法人経営の最前線～

12月号 揺らぐ性、変わる教育 / 働き方改革の成果と展望

※雑誌の最新情報、定期購読申込は www.sentankyo.ac.jp から



A4変形版、128P、本体1,500円＋税

2019年9月創刊
毎月15日発行予定



文部科学大臣認可
学校法人 先端教育機構
Advanced Academic Agency

先端教育機構出版部（事業構想大学院大学内）
〒107-8418 東京都港区南青山3-13-18 313 南青山6F
TEL：03-3478-8402 Email：info@sentankyo.ac.jp

書籍・学会誌・自分史



カタログ・社内報・伝票

[株]
文成印刷

代表取締役 林 幹雄

東京都杉並区方南1-4-1 ☎ 03-3322-4141 FAX 03-3322-4144

E-mail: bp@bunsei.com
URL: <http://www.bunsei.com>

日本学習社会学会第16回大会プログラム

印刷／発行 2019年7月25日

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40
日本大学文理学部教育学科

日本学習社会学会第16回大会実行委員会

委員長	北野 秋男 (日本大学文理学部)
顧問	佐藤 晴雄 (日本大学文理学部)
顧問	富士原雅弘 (日本大学国際関係学部)
事務局長	佐久間邦友 (日本大学文理学部)
委員	田中 謙 (日本大学文理学部)
委員	松岡 侑介 (日本経済大学)
委員	窪 和広 (日本大学文理学部人文科学研究所)
委員	本間 夏海 (日本経済大学)
委員	手塚 貴子 (函館短期大学)
委員	末吉 雄二 (日本大学大学院・院生)

問い合わせ先 : sakuma.kunitomo@nihon-u.ac.jp (佐久間)

コミュニティ・スクール 〈増補版〉

「地域とともにある学校づくり」の実現のために

佐藤 晴雄 著

2019年8月刊行

コミュニティ・スクールへの理解や学校改善に役立つ実用書。
大規模な全国調査のデータに基づき、コミュニティ・スクールの
実態や成果・課題を明らかにする。ご好評をいただいた『コミュ
ニティ・スクール』（2016年8月刊行）の増補改訂版！

- ・「第2部」に「補章」を新たに加え、法改正による学校運営協議会の在り方について詳述。
- ・内容分析の対象となる学校運営協議会設置規則数が、初版に比べて大幅に増加（157例→237例）。
- ・「第3部 コミュニティ・スクールQ&A」も、法改正を踏まえてバージョンアップ。



- A5版・並製 / 223頁
- ISBN978-4-87168-636-5 C3037
- 定価（本体1,800円＋税）

エイデル研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-9
TEL. 03-3234-4644 FAX. 03-3234-4644 <http://www.eidell.co.jp>

季刊 教育法

定価 本体価格1,905円＋税 発行 3・6・9・12月25日 年4回

200号（2019年3月号）特集

【第1特集】教育法の主要課題とこれから

喜多 明人／小野田 正利／樋口 修資／望月 浩一郎／南部 さおり／長沼 豊／中澤 篤史

【第2特集】教育法学研究への提言

森部 英生／早田 幸政／浦野 東洋一

201号（2019年6月号）特集

【特集】「特別の教科 道徳」の評価をどう進めるか

押谷 由夫／藤田 昌士／吉田 武男／林 泰成／本間 夏海／清水 香保里／佐藤 晴雄

エイデル研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-9 TEL.03-3234-4641 FAX.03-3234-4644

